

HOLな職場作りに向けて

～女性活躍から見える子育て職員の幸せな働き方～

社会福祉法人 北海道友愛福祉会

特別養護老人ホーム 静苑ホーム

HOL課 課長 橋本 抄苗

静苑ホームがある江別市

YUAI FUKUSHIKAI | 2024

- 1 江別市は札幌市に隣接しており、札幌のベッドタウン。
人口は118,263人。面積は187,38km²。
高齢化率30.72%(36,783人)。要介護認定率19.0%
- 2 静苑ホーム周辺の新栄台地区は新興住宅街で、
比較的、子育て世代が多く生活されている。
近くには小学校や中学校もあり、子供たちの声が聞こえてくる地域。
- 3 名産品として「江別レンガ」や小麦「ハルユタカ」の産地でもあり、
ラーメンやパン、スイーツに加工されている。



静苑ホームの紹介

YUAI FUKUSHIKAI | 2024

老人福祉・介護事業

介護老人福祉施設 150名

ショートステイ 15名

デイサービスセンター 40名

ヘルパーステーション

福祉移送サービス

障がい福祉事業

入浴支援事業

居宅介護支援事業所

居住支援法人



HOL課とは

YUAI FUKUSHIKAI | 2024

HAPPINESS OF LIFE

ハピネス オブ ライフ

“笑顔”のある暮らし、“喜び”を感じられる毎日を積極的に
つくりだすケア

痛みや苦しみをやわらげ、“穏やかに”に暮らしていただくことを
めざすケア

「ご利用者」・「地域」・「職員」にとって
HAPPINESS OF LIFEな職場作りを目指し

生活支援課・地域支援課を統合し“HOL課”をスタート

静苑ホームの職員状況

1

介護士の平均年齢・・・32.1歳

静苑ホーム全体の職員平均年齢・・・45.1歳

2

育児休暇取得者・・・12名

出産退職・・・0

産休育休取得・職場復帰率・・・100%

※過去10年のデータ

3

介護職員人数・・・86名

子育てしている職員人数・・・12名(小学生以下)

子育て職員の悩み

YUAI FUKUSHIKAI | 2024

● 子ども・自分の体調不良

- ①子どもの急な発熱などの体調不良時のお休みや保育園のお迎え。
- ②仕事と子育ての両立に対する不安や身体の不調により、心と身体のバランスが崩れやすい。

● 子どもと過ごす時間

- ①子供が小学校に上がると夜勤含むシフト勤務への復帰が心配。
- ②土日祝日は子どもと一緒に過ごしたい。

みんなが幸せに働ける部署作りへ

YUAI FUKUSHIKAI | 2024

1 子ども・自分の体調不良

急な休みを取得する際には業務から抜ける為、職場に迷惑をかけているという気持ちや申し訳ない気持ちから
ここにいて良いのか不安。

2 子どもと過ごす時間

夜勤業務含むシフト勤務により子どもに合わせた時間を作ることが難しくなり、子育てと仕事の両立への不安から
心理的ストレスが発生。

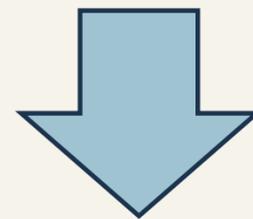
子どもの成長に合わせた働き方ができる部署作りが必要！！

介護連携部署の創設

YUAI FUKUSHIKAI | 2024



子育てする職員も含むみんなが働きやすい
職場作りを検討開始。
困っている部署へ内部派遣する仕組みに変換。



2018年に
「介護連携部署」の創設



介護連携部署とは ①

● Phase 1

職員が急に休んでしまい、
人手が足りない部署への、フォロー！

● Phase 3

「LIFE入力業務」「SS業務」等の
相談業務をサポート！

● Phase 2

経験と高い専門性を活かしDSやHH等、
在宅にも幅広く活躍！

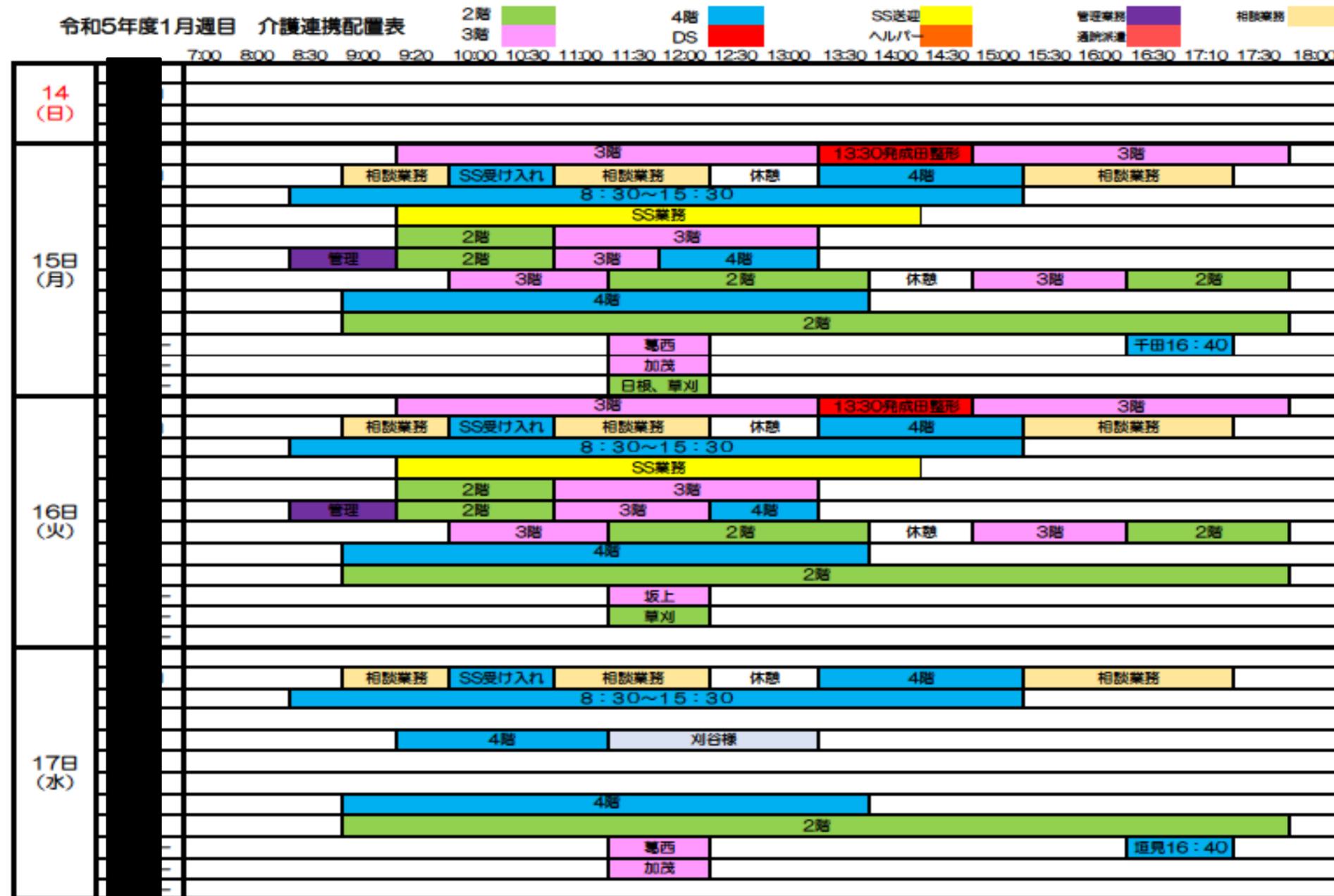
● Phase 4

食事・入浴などの
ピークタイム対応！！

ユーティリティ ケアワーカーとして活躍！！

介護連携部署とは ②

YUAI FUKUSHIKAI | 2024



● 実際の週間業務表

- ・入所フロアへの配置、SS送迎、相談業務、DS、ヘルパー、通院派遣の配置
- ・その時の状況に合わせた柔軟な対応が可能
- ・9人中7人が子育て世代

介護連携部署創設時の課題

YUAI FUKUSHIKAI | 2024

● Problem 1

チーフを配置(法人初のパート管理職)

● Problem 2

配置される部署の情報が分かるような仕組みに変換
(LINEの活用)

● Problem 3

ベテランが多い為、スキルが高く、自然と解消された

介護連携部署の成果 ①

YUAI FUKUSHIKAI | 2024

- “仕事 ≤ プライベート = 幸せ(HOL)”
自分の働きやすい時間にシフトチェンジ
休みについても、働きやすい休みの取得が可能
- “限定パート職員の創設”
子育て期間中、自身のタイミングで正職員に復帰可能
退職共済の加入継続ができる
- “限定パート職員から正職員に復帰する時”
同じ等級でスタートすることができる

介護連携部署の成果 ②

自分に合った働き方を選択できる
ことで“心と時間にゆとりを
もって、仕事と育児ができる”

Step1

「フル」「時短」「限定パート職」
子育て中の働き方に選択肢が増えた

Step2

入所・在宅と多岐にわたる部署で働くこ
とでスキルアップや適正を見つけられる

Step3

子育て期間中、自分のタイミングで戻れ
る場所が用意されている

介護連携部署の成果 ③

YUAI FUKUSHIKAI | 2024

フロア配置の場合、急な休みなどで
『迷惑かけている』という思い…



困っている部署をフォローすることで「来てくれて嬉しい」
「ありがたい」という感謝の言葉に変化！！



子どもを育てながらも働きやすい職場、心理的安全性に繋がった

● Problem 1

若い職員が多い部署な為、「正職に戻れるか不安だ」などの声がある
実際に正職員に戻る時に課題が生じる可能性がある

● Problem 2

一時的に限定パート職員になる為、今後は非常勤正職員の制度を検討

● Problem 3

男性の育児休暇の取得の推奨を行い、取得しやすい職場環境へ

HOLな職場作りに向けて

YUAI FUKUSHIKAI | 2024

夏休み期間の“子供を連れて出勤”する帯同出勤を応援

● 子どもの休み期間であっても安心して仕事ができるようバックアップ

- ・小学校1年生～6年生を対象
- ・夏休み期間を試行して、良ければ、秋休みや冬休みへ拡大を検討
- ・様々なルールに沿って帯同出勤を実施



● 静苑ホームは「生活の場」。地域と同じく様々な世代の共生へ

- ・子供達の笑顔がご利用者の笑顔へ
- ・キッズボランティアの再開に向けてのきっかけ作りとして



HOLな職場作りに向けて

YUAI FUKUSHIKAI | 2024

- 小学生以下にクリスマスにはプレゼントを用意
- 大感謝祭では子ども連れOK！！小さい子は保育士を在中した保育スペースを完備し、子どもがいても楽しめるよう工夫した会を開催
- 子どもの扶養手当を5,000円⇒8,000円に増額
- 子どもの看護休暇が法定よりも多く取得可能



HOLな職場作りに向けて

YUAI FUKUSHIKAI | 2024

- 静苑ホーム全体としての過去10年の定着率94.4%
- 女性が活躍できる職場に変化し、女性管理職の割合が増加(29人中16人女性)

女性が活躍できる職場を作る事で、結果として女性だけではなく、

男性・女性関係なくすべての職員にとってHOLな職場に結びつくと考える。

働く職員の多様化が進む中、職場として、どこまでシステムを構築できるか、常に変化が求められる時代だからこそ、HOLな職場作りを考え実践する必要がある。

YUAI FUKUSHIKAI | 2024

THANK YOU